



1



2



3



4



5



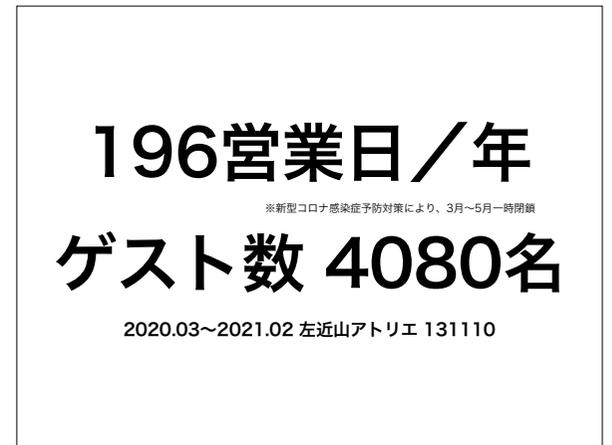
6



7



8



9



10



13



16



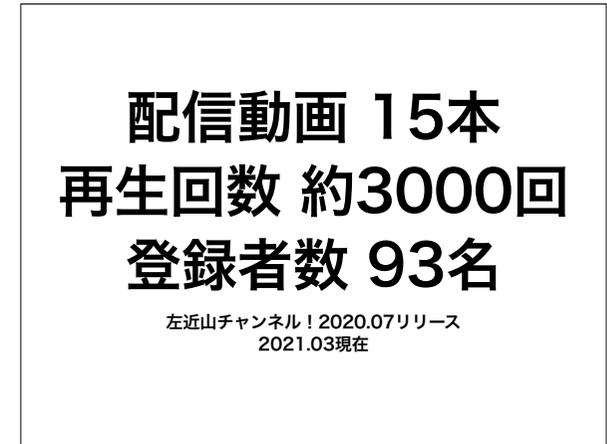
11



14



17



12



15



18



2020.12.01
左近山小5年生 × 左近山チャンネル
ビデオ制作勉強会

19

左近山アートプロジェクトが目指すゴール

- 1.この活動を知って左近山に住んでみたいと思う人を増やし、実際に左近山住民を増やしたい。
- 2.左近山アトリエが、住民にとって大切な場所になり、黒字経営ができる。
- 3.多様な価値観を認め合うコミュニティを形成する。

22



2020.06.16
橋本大学で店頭で
「朝の挨拶活動」実施中

25



左近山アトリエ131110 個別指標効果測定

20

アトリエの店長スタッフが記録
「見た」「聞いた」「話した」
ことをスタッフ日誌に記録

↓

個別指標レビュー
ストーリーを抽出・分析・評価

店長スタッフ日誌 (LINEノート)

23



毎週火曜午後「編み物部」
小学生～80代まで
ゆるやかに活動中

26

効果測定個別指標会議

2020.09.16 (水) 10:00-13:00 @ 左近山アトリエ 131110

・議題：アトリエ拠点活動の効果測定の個別指標の検討

・招聘アドバイザー：

- ・佐藤慎也 / 日本大学理工建築学科教授 (建築・アート・まちづくり)
- ・小泉瑛一 / about your city代表 (建築・都市・まちづくり)
- ・山下裕子 / 広場ニスト (人・ネットワーククリエイター)

21

アトリエスタッフ 12名 採取ストーリー 350件 常連のお客様 30~40名

左近山アトリエ131110
ストーリー採取期間 2020.06~2021.02

24



小学生Sちゃん、編み物に黒板の刃の絵を黒板に描いていく！お母さんが限りを組みあそうに話を聞いてほしい感じ。食下校の小学生や米数学部も黒板の絵を見てワイワイしている。 / 2020.11.24

「お母さん、水彩色鉛筆をアトリエに提供して下さい、娘と編み物女子2人でテラスで勉強中。それを見て高齢者の方々が次々に声を子どもに掛けてました。」 / 2020.12.11

「小学生帰宅時はテラスのスタッフがお客さんになりたくなるほど人気です！」 2020.12.11 etc.

2020.11-
店頭のお絵描きイベントは
子どもたちに人気

27

ゴール達成へむけて…「見た」「聞いた」「話した」ストーリー

1. 左近山の価値を高める・広める

感染症予防のため、プロジェクトの対象は左近山団地住民に限定中。団地外へのアピールは少なかったが…

- アトリエの参加アーティストやスタッフのファンや友人たちが、団地外からも集まる場所になっている
- 左近山のアート体験を伝える「左近山チャンネル！」9月リリース
- 散歩部「mikke! 左近山」活動開始、団地の魅力をSNSでアピール
- ローカルメディア「YCV じもっと」や「タウンニュース」にて、活動紹介
- アトリエのSNSフォロワーもじわじわ増加中：@ 329 652

37

ゴール達成へむけて…「見た」「聞いた」「話した」ストーリー

3. 多様な価値観を認め合うアートを軸としたコミュニティ

・20210310「散歩部入部予定の40代女性M様、お散歩を楽しみにしていらっしゃいました。たまたま同席した常連Oさんと「横濱人の家」ファンなことがわかり盛り上がりしていました。”

・20210309「60代男性Tさんからご自分のでいた劇のお話聞かせていただきました。その後Tさんは大学生のおふたりと左官展の展示と色々お話を聞いてもらいました。”

・20210306「横国生ひらゆーの左官デモを見学し1街区Yさん（老人会会長）とSさん（左近山小ボランティアをされていた方）が応援にいらしてくれました！”

・20210221「院長先生、常連さん夫婦やTさんとテラスで会話、Iさんのギターを借りて演奏。最近1街区に越してきた40代女性、ギター演奏とにぎわいに誘われて来店、会話に加わる。”

・20210221「スタッフ鈴木さんの高校生のお嬢様、3つの石積チャレンジを完成させる！」

・20210221「常連70代男性Kさん、コーヒー飲みながらかねきさんと石積み話で盛り上がる。”

40

Month	Guests	Notes	Cafe営業	Art活動	Publicity
2020/03	110	3/1-15、28-前期コロナ感染予防のため営業中止。 ※東京・ワークショップ中止	アヒクアウト もテラス営業	展示・イベント中止	こぼれYCV「じもっと」 （左近山アート）
2020/04	0	0 前期コロナ感染予防のため営業中止。展示・ワークショップ中止		展示・イベント中止	
2020/05	0	0 前期コロナ感染予防のため営業中止。展示・ワークショップ中止		展示・イベント中止	
2020/06	300	「アヒクアウト」テラス座席のみでカフェ・営業再開 ※小学生を呼んで学生の前の座席・座席の再席分け開始	アヒクアウト もテラス営業	展示・イベント中止	「横濱新聞」掲載 「YCV」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/07	562	「mikke!」(商店街) ※7/5 カフェ店内・換気と消毒を6を定員にて営業再開	※5名来店店内営業	「横濱新聞」掲載 「YCV」掲載 「タウンニュース」掲載	「YCV」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/08	562	※19/6 歩道横断歩道橋の歩道幅を6を定員にて営業再開 ※10/20-11/15【オアシスデザイン】 ※10/20-11/15【オアシスデザイン】 ※「mikke!」左近山（散歩部）角店	※19名来店店内営業	「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/09	458	※「左近山チャンネル！」リリース/9/27オンラインWS ※「藤田キッチン」月1回第3主客ランチ開始	※「藤田キッチン」 第3主客ランチ	「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/10	423	※10/20-11/15【オアシスデザイン】 ※10/20-11/15【オアシスデザイン】 ※「mikke!」左近山（散歩部）角店		「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/11	461	※11/3【散歩フェス】 ※店舗にスタッフ用イーゼルを設置開始		「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2020/12	417	※12/2-20【いよいよ歩道】 ※12/2-20【いよいよ歩道】 ※12/28-1/8 年末年始休業		「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2021/01	265	※12/28-1/8 年末年始休業 ※緊急事態宣言のため、展示・ワークショップ中止		「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載
2021/02	270	※緊急事態宣言のため、ワークショップ中止 ※2/9-28【石積みチャレンジ】		「オンラインWS」 「オンラインWS」 「オンラインWS」	「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載 「タウンニュース」掲載

43

ゴール達成へむけて…「見た」「聞いた」「話した」ストーリー

2. さまざまな住民の居場所となる

・20210307「メニュー黒板を書きながら、小学校低学年の子供と鬼滅の刃の話をしました。また、60代の3人は観葉植物(虎の尾)に夢中🐾

・20210306「常連70代男性Hさん、はじめてのホットワイン🍷飲みつつ1時間、世の中に対しての愚痴をこぼしたり、子供時代の思い出を語って過ごしました。”

・20210305「常連70代男性Sさん、ふらりとアトリエを覗きに来てしばらく雑談する。「また長学持つてくるよー」と笑顔で帰られる。”

・20210305「常連50代男性（週1〜2回左近山の部屋でお仕事されている、大学教授）コーヒー飲みながら、ニュージーランドやデンマークなど海外生活の話をしていく。”

・20210228「小学5年男児2名「ピクニックに行くので！」とパーカーとコーラ買っていき、ランチに来た常連40代女性さんからもおやつをもらってました！”

・20210228「最近常連の50代男性、本日もランニングの休憩地としてテラスでランチし、またランニングして帰る。往復10分走っている。”

38

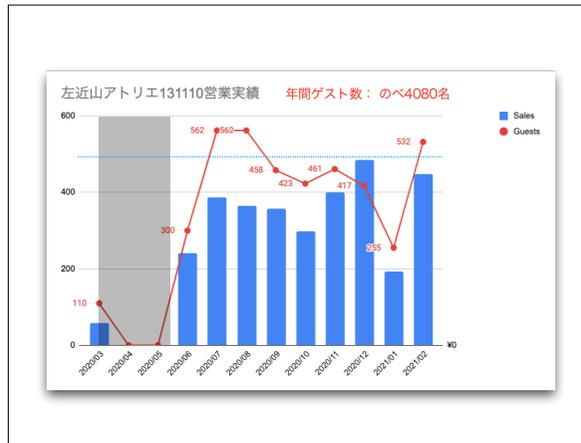
ゴール達成へむけて…「見た」「聞いた」「話した」ストーリー

3. 多様な価値観を認め合うアートを軸としたコミュニティ

- ヨコハマパトラリエナーレ「みんなで作るう！井上唯のwhitescaper」参加、手仕事にハマるお客様方
- オンデザインの模型づくりオンラインWSへの子どもたちの反響
- かねきのぶひるさんのロックバランシングに大勢のお客様が挑戦

- 毎週火曜日午後・金曜日は 編み物部
- 店頭のお絵かきイーゼルはコミュニケーションツールに
- お客様の自由に活動：お絵描き・手芸・模型・工作・音楽…
- 「ありがとう通貨」スキル⇄ドリンクチケットの価値交換の実験
- ▶ 今後の展開検討中

41



44

ゴール達成へむけて…「見た」「聞いた」「話した」ストーリー

2. さまざまな住民の居場所となる

●子どもたちの居場所：放課後にテラスでゲーム、店内で水を飲みながら宿題やお絵かきする子どもたち、大人たちが見守る場。

●高齢者の居場所：一人住まい、問題を抱えていたりする70-80代の高齢者が話をしに来る。スタッフが丁寧に話を聞いている。

●横国大生が店頭で「朝の挨拶活動」を継続中、最近では子どもたちから学生へ、自発的に挨拶をしてくれるようになっていく。

●商店街イベント企画運営スタッフ、横国大コミュニティ活動「サロバ」メンバーが相談にきたり、活動の場になったりしている。

▶子どもたち・大学生・高齢者・子育て世代など相互に多世代とつながる場になっている。

39

左近山アートプロジェクトが目指すゴール

- 1.この活動を知って左近山に住んでみたいと思う人を増やし、実際に左近山住民を増やしたい。
⇒ 左近山の価値を高める・広める
- 2.左近山アトリエが、住民にとって大切な場所になり、黒字経営ができる。
⇒ さまざまな住民の居場所となる
- 3.多様な価値観を認め合うコミュニティを形成する。
⇒ 多様な価値観を認め合うアートを軸としたコミュニティ

42

左近山アートフェスティバル！プロジェクト企画・運営について

- ① アーティストの選定基準
作品が「面白い」だけでなく、「左近山団地」を盛り上げることに積極的に貢献してくださる方に追加している。
- ② 多様性あふれるスタッフの採用
20〜71歳：建築科学生・翻訳研究者・手芸ユニット・体験の先生・カフェ常勤中・おばあちゃん・多様性のあるスタッフ。高齢者のお話を聞いていかにあがるなど、必要に応じてお客様とも積極的に関わっている。
▶アトリエ/フェスを舞台に、アーティストだけでなく、スタッフ、お客様、プロジェクトに関わる皆さんが当事者として、相互に影響しあいが、アート体験を深めている。アトリエで過ごすことがアートになっているアトリエ常連さんも。
- ③ 商店街のなかの自由なアトリエ
・商店街の中にアートをもちこむことで「日常の中の非日常」を味わえる、自由で居心地の良い空間となっている。アトリエで過ごす時間に価値を感じる方が「常連」となり、自分のアトリエとして自由に制作・表現するお客様もいる。
・休憩OK・持込OK・トイレOK・水だけでもOKな自由なアトリエには、放課後の小学生、買い物途中のお年寄りも立ち寄り、多世代間のお客様・スタッフ・アーティストが自然に交流する場になっている。
- ④ 散歩フェスのコンテンツ
広場・商店街・森を舞台にソーシャル・ディスタンスをとりながら居場所を作った空間構成と、左近山を再発見するアートコンテンツに、アーティスト・スタッフ・団地住民の皆さんが加わることで、散歩することがアートとなり、生活とアートが結びついた、STGKの考える左近山の理想の風景を描くことができた。

45